



◀受賞した佐藤組合長
(左)と大高晃さん(右)



優良種子で高品質米の生産を

J A あきた白神

秋田県うまい米づくり運動本部と秋田県産米改良協会は3月28日、平成28年度「あきた売れる米づくりランクアップ運動」並びに第25回秋田県優良水稻種子生産共励会を秋田県J Aビルで開き、ランクアップ運動で当J Aが優秀賞、共励会では大高晃さん（荷八田）が秋田県産米改良協会会長賞の優秀賞と秋田県知事賞を受賞しました。

ランクアップ運動は、売れる米づくり対策、販売に大きな影響を与える品質・食味の向上に重点をおいて、平成27年度から実施しており「種子更新率100%」「整粒歩合80%以上」等を目指して掲げています。また共励会は、優良種子

に対する認識と生産技術を高め、秋田米の商品性向上と声価の高揚を目的に平成4年から毎年開催されています。

受賞した佐藤組合長は「青果物の生産振興に励んできた28年度だったが、年度終わりに基幹作物である稲作部門においても、これまでの指導・販売が評価され賞をいただくことができた。これからも地域農業の継続、発展に最大限努力していく」と話し、大高さんは「優秀賞をいただき、さらにやる気が出てきます。プレッシャーもありますが、さらに上を目指してこれからも優良種子の生産に励んでいきたい」と今後に向けて抱負を語ってくれました。

農業協同組合への功労を称える

J A あきた白神

J A 全中主催の平成28年度農業協同組合功労者表彰が3月10日、東京都で開かれ、当J Aの佐原操代表理事専務が功労者として表彰されました。

佐原操専務は、農業者の高齢化や担い手不足を見据え、コントリーエレベーターを導入し、新たな農作業体系の構築や、J Aの役割強化と将来に向けた経営基盤の拡大を図りました。また、複合経営を推進し、野菜の新規作付者や増反面積への助成制度を設け面積拡大を図るほか、「地域ブランド商標」として5つの品目で商標を取得し、差別化販売をすることで白神農産物の有利販売に大きく貢献しました。



▲表彰された佐原操代表理事専務（左）



▲旬の山うどを味わってもらいました

今が旬！「白神山うど」の店頭販売を開催

販売課

J Aは3月16日、17日に、いとく能代北店で「白神山うど」の販売促進キャンペーンを行いました。キャンペーンにはJ A職員のほか第27代ミスフレッシュ秋田の浅野友香さんが参加し、店頭にて山うどの試食会を行いPRしました。

当管内の山うどは県内随一の産地として、県内の量販店をはじめ関東、札幌、大阪など各市場に出荷されており、生産者で構成される山うど部会も、年に数回、県内外のスーパーなどで販促活動に取り組み、消費拡大を図っています。販売額1億5000万円の達成を目指し、白神山うどの出荷は4月中旬まで続きます。